

大阪  
成蹊

\* Osaka Seikei \*

学園広報誌

No.46

2026年6月発行

# WAVE

■特集

2027年

## 経済学部\*、はじまる

経済学部\*新設にあたり～社会科学系学部の強化へ～

特集 2027年 経済学部*、はじまる	02
教育 生成AIの「積極的な利活用」へ ～利用指針の改定～	04
研究室から 教育学部 保健体育教育コース 白井 達矢 准教授	06
卒業生インタビュー 株式会社JTБ 永井 葉さん	08
卒業生インタビュー 株式会社モンテディオ山形 伊庭 詩英里さん	10
クラブ紹介 チアダンス部 GRACE	12
就職状況報告 2025年度就職状況	13
毎日広告デザイン賞受賞のお知らせ	14
大阪府警、近畿総体ポスター最優秀賞受賞のお知らせ	
/こみち幼稚園だより	15
SEIKEI EXPOのお知らせ	巻末

\*仮称・2027年開設に向けて設置構想中。計画は予定であり、内容に変更が生じる場合があります。



# 生成AIは、抑制的な利用から、 「積極的な利活用」へ

## 利用指針の改定

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

わずか数年前まで「未来の技術」だと思われていた生成AIは、今やスマートフォンと同じくらい身近な存在となりました。検索エンジンの回答も「AIによる要約」とあり、生成AIはすでに日常のひとつコマになっています。もはや「AIを使っているか」ではなく「どう使いこなすか」が問われる段階へと世の中はシフトしています。

教育現場での利用も急速に進んでおり、本学では、2023年に利用指針を策定しましたが、2026年4月よりそれを改定しました。積極的な利活用を推奨することとしますが、注意事項も新たに盛り込みました。ここでは、今回の改定のポイントをいくつか紹介します。

### 1 授業・研究での利用方針

授業・実験・実習・レポート・卒業論文等での生成AIツールの利用については、各授業内で担当教員が提示する「生成AIの利用についての方針」等に従い、活用しましょう。ただし、利用する際は、必ず以下の点を提出物に明示してください。

- 1 利用したツールの情報：利用した生成AIツールの名称とバージョン（例：ChatGPT-4、Stable Diffusion 3等）
- 2 利用日：ツールを利用した日付
- 3 出力内容の明記：生成AIツールが出力した内容を提出物と区別できるよう、脚注や引用形式で明記する。また、可能な範囲でプロンプトを記録しておくことを推奨。成果物中の生成AI利用部分は、脚注や但し書き等で補足してください。
- 4 あなたの「思考」の明示：生成AIの出力内容をうのみすることなく、あなたがどのように判断し、修正し、自身の思考プロセスに組み込んだかを具体的に説明する。特にレポートや卒業論文では必須となります。

### 2 思考の過程を大切に

生成AIは強力な「道具」ですが、それ自体に「思考」はありません。本学の学びは、答えを出すのではなく、「思考の過程そのもの」に重きを置いています。

生成AIの出力をそのまま引用・提出することは、あなたの思考の放棄と見なされます。必ず自身の言葉で再構築し、自身の思考の筋道を示してください。

テーマや課題によっては、「生成AI利用の範囲と目的」を明示することが求められます。授業担当教員の指示に必ず従ってください。

### 3 成績評価と学術倫理

生成AIを適切に利用した場合は評価対象となりますが、記録や報告を怠った場合は、以下のペナルティの対象となります。

- 1 利用の事実を隠蔽した場合、ひよせつ剽窃や捏造などの学術不正と見なされ、減点や再提出、さらには成績評価や卒業判定に影響する可能性があります。



2 違反の程度に応じ、再提出、成績評価へのペナルティ、研究倫理教育の再受講などを求める場合があります。

### 4 情報の正確性・責任の所在

生成AIは「もっともらしいが誤った情報（ハルシネーション）」を生成することがあります。生成AIの出力内容は、必ず信頼性の高い情報源（書籍、学術論文、公的機関のデータ等）に基づいてあなた自身で検証・修正してください。生成AIはあくまで補助ツールであり、成果物の最終的な判断と責任は全て「あなた自身」にあります。

また、可能な場合は、指導教員や共同研究者など複数の関係者とともに確認し、内容の正確性や妥当性を確保することを推奨します。

生成AIの利活用にあたっては、機密情報や個人情報の入力を禁止するほか著作権侵害のリスクを避けることなどにも注意を払う必要があります。詳しくは「アカデミックハンドブック2026」を参照してください。



発行：総務省 情報流通行政局 情報流通振興課

# 研究室から

## 「防衛体力」を鍵に、社会と接続するスポーツ医科学を

大阪成蹊大学



大阪成蹊大学 教育学部 保健体育教育コース 白井 達矢 准教授  
大阪市立大学大学院 医学研究科修了 博士(医学)

2018年より、大阪成蹊大学 教育学部 教育学科 中等教育専攻 保健体育教育コース准教授。  
川西市文化スポーツ振興財団の理事や日本教育医学会、日本体力医学会で常任理事、  
評議員を務める。日本体力医学会や日本教育医学会などで若手研究奨励賞、学会賞などを受賞。

### 研究の原点： 社会と接続する研究者であれ

私の研究の原点は、若き日に指導教官から授かった一言に集約されています。「社会を揺るがす大きな発見も大切だが、それ以上に、研究を通して学生に伝え、社会に還元できる、社会と接続できる研究者になりなさい」。当時、医学部という最先端の研究がひしめく環境にいた私にとって、この言葉は進むべき道を照らす灯火となりました。

私自身、幼少期からスポーツに親しむ中で、多くのけがを経験してきました。「どうすればけがをしない体を作れ

るのか」「今のトレーニングは本当に正しいのか」。高校・大学生の頃に抱いたこの素朴な疑問が、私を研究の道へと駆り立てたのです。以来、私は「スポーツ生理学」を専門とし、単なる理論の追求にとどまらず、現場の指導者や子どもたち、そして地域社会に直結する生きた科学をめざしてきました。

### 「防衛体力」が切り拓く、 心身の健康と脳の発達

現在、私が主に取り組んでいるテーマは、口腔環境や口

腔免疫、自律神経、そしてストレスや認知機能の相関関係です。一般的に「体力」と言えば、筋力や持久力といった「行動体力」が想起されがちですが、私が着目しているのは「防衛体力」と呼ばれる領域です。これは免疫力やストレスへの抵抗力、情緒のコントロールなど、生命を維持し、健やかに生きるための根源的な力を指します。

近年の研究では、この防衛体力の向上が、子どもの脳機能や行動体力にも好影響を与えることが明らかになってきました。「脳にとって最高の刺激は運動である」という科学的根拠に基づき、いかに効率よく、安全に、そして効果的に心身を育むか。高齢者の健康寿命延伸から、次世代を担う子どもたちの健全な発育まで、生理学・免疫学的側面からアプローチを続けています。

### 高大連携で見えてきた、 世代を超えた学びの姿

一昨年度からは、新たな試みとして「大学生と学ぶスポーツ医科学イベント」をスタートさせました。これは大学生が講師役となり、高校生と共に現代の健康課題を解決していく取り組みです。テーピングやコンディショニングの実践を通じて、高校生は自らの身体に関心を持ち、将来



を描くきっかけを得ます。一方で大学生は、教える側に立つことで、自らの知識を血肉化し、実践的な指導力を養います。

スポーツ医科学という共通言語を通して、年齢の近い若者たちが共に学び合う姿には、教育の本来あるべきアウトリーチの形が見て取れます。自分自身の身体を理解し、ケアすることは、生涯にわたるQOL(生活の質)の向上に直結するのです。

### 「ウェルネスの専門家」としての 使命を胸に

「保健体育」は、文字通り「保健」が先にあります。身体の健康はもちろん、心の健康、そして社会との繋がりの中に自分の居場所があるという「ウェルビーイング」の視点。スポーツをコミュニケーションツールとして活用し、人と人との絆を深めていく。その中心に立つのが、次代の教師たちです。

教育は「人なり」です。教える者が成長を止めてしまえば、子どもたちを導くことはできません。私自身もまた、学生と共にトライ&エラーを繰り返し、社会と接続し続ける研究者でありたいと考えています。



大阪成蹊大学卒業



永井 葉さん

- 卒業年 2025年
- 卒業学部/学科 経営学部/スポーツマネジメント学科
- 出身校 大阪府立山本高等学校
- 勤務先名 株式会社JTB

大学時代からスポーツビジネスに携わりたいという想いで、業界研究をするなかでスポーツ事業を展開するJTBを知る。チーム運営にも関心があったが、コンテンツホルダーとお客様をつなぐ事業に魅力を感じJTBに入社する。

学びはBtoCが中心でしたが、法人営業部での業務を体験したことで、BtoBビジネスの本質を肌で感じる事ができました。具体的には、お客様のニーズをくみ取り「お客様目線」で提案を組み立てる姿勢です。入社後も法人営業を担当していますが、インターンシップで培った「お客様が自社に何を期待しているか」を常に自問する習慣は、現在の私の基盤となっています。

あなたにとっての「大阪成蹊大学」をひと言で表すと？

「社会人になるための大きなスタート台」です。上記にあげたインターンシップも含めて、実践型の授業がとても充実していたので、座学だけでは学べない「現場視点」の考え方が身につく、社会人生活をスタートさせるには十分な経験をさせてもらいました。

建学の精神や忠恕の心も、社会に飛び込んでいく「大人」として必ず身につけておくべきということも学ばせていただきました。

最後に学生のみなさんへメッセージをお願いします。

大阪成蹊大学は専門的な学部学科が多いので、「自身の好き」を伸ばして、社会に出ても武器にできるとも貴重



な学びの場だと思っています。私は大阪成蹊大学に入学して良かったと思っていますし、たくさん貴重な経験をし、素晴らしい友人、先生方と出会うことができました。どこに進学するのが正解かは、大学選択時に決まるのではなく、自身の学生生活の過ごし方で決まります。既に目標がある方、今はまだ先のことが考えられていない方も、ご自身の意思に自信を持ち、頑張ってください！

現在のお仕事内容とやりがいについて教えてください。

私の所属部署はMICE事業を軸に、国際会議や医学会の運営、宿泊・輸送手配を幅広く手掛けています。

スポーツ事業では大阪マラソン等の運営や海外エントリー支援をワンストップで提供し、万博記念公園事業では指定管理者として「ラーメンEXPO」等のBtoBのイベントも自社興行しています。

現在私は、スポーツ事業における海外ランナーの受入支援や関係者の宿泊輸送手配に加え、BtoC事業ではイベント内企画の立案・運営を担っています。

自ら営業を行い契約を獲得した際の達成感はもちろんで

すが、それ以上に、お客様の課題解決や満足度に直結する「契約後のプロセス」を大切にすることで、自身の確かな成長を実感しています。

大阪成蹊大学での学びは、今のお仕事にどのように活かされていますか？

楽天モンキーズでのインターンシップを通じて、プロスポーツ経営の現場を深く学ぶことができました。大学での



びわこ成蹊スポーツ大学卒業



伊庭 詩英里さん

©MONTEDEO YAMAGATA

- 卒業年 2023年
- 卒業学部/学科/コース スポーツ学部/スポーツ学科/学校スポーツコース
- 出身校 滋賀県立安曇川高等学校
- 勤務先名 株式会社モンテディオ山形

「スポーツの力で人の心を動かしたい」。  
 スポーツが持つ人を笑顔にしたり、勇気づけたり、  
 地域を一つにする力に魅了され、クラブスタッフという  
 立場でスポーツに関わる道を選ぶ。

現在のお仕事内容とやりがいについて教えてください。

現在はプロサッカーチームを運営するモンテディオ山形の広報・マーケティングとして、SNSやHPでの情報発信、試合・イベントの企画運営、メディア対応を担っています。クラブと地域・サポーターをつなぐ架け橋として、地道な準備や細やかな気配りを大切に、日々の業務に励んでいます。大きなやりがいは、自身の発信が「正しく、魅力的に届いた」と実感できる瞬間です。言葉選び一つで受け手の印象が変わるからこそ、責任を持って正確かつ温かみのある発信を徹底しています。スタジアムの笑顔や、発信をきっかけに届く温かい声に触れるたび、クラブの信頼と魅力を

広げる一翼を担っていることに深い喜びを感じています。

びわこ成蹊スポーツ大学での学びは、今のお仕事にどのように活かされていますか？

在学中は学校スポーツコースに所属し、教育実習にも参加し教員免許を取得しました。

授業や実習を通して、「スポーツをする」「みる」「ささえる」という三つの側面からスポーツを学び、スポーツが人に与える影響や可能性を多角的に学ぶことができました。

また、びわこ成蹊スポーツ大学では、コースを超えて他分野の授業を受けることができます。

自分の専門以外の視点からも学びを深められたことで、スポーツをより広い視野で捉えられるようになりました。

さらに、小規模な大学ならではの、人と人の距離の近さも印象に残っています。

授業や実習で出会った多くの人とのつながりは、現在、クラブの現場で選手やチームスタッフと円滑にコミュニケーションを取りながら仕事を進めるうえで、大きく活かしています。



今後の目標をお聞かせください。

我々はプロサッカークラブである以上、勝利を追求し続けることが使命です。

ピッチでの勝利は、クラブの存在意義を示す最もわかりやすい形であり、そのために日々努力を重ねています。

一方で、モンテディオ山形は地域に根ざしたクラブとして、サッカーを通して山形に元気と笑顔を届けることも大切な役割だと感じています。

勝利と地域貢献、そのどちらも大切にしながら、これまで以上にクラブの魅力と可能性を多くの人に伝えていくのが目標です。

最後に学生のみなさんへメッセージをお願いします。

びわこ成蹊スポーツ大学では、スポーツを通して技術を磨くだけでなく、自分自身の可能性を広げるたくさんのチャンスがあります。授業や練習は決して楽なものばかりではありませんが、努力した分だけ成長を実感できる瞬間があります。

先生方や仲間との出会いは、時に厳しく、時に励まされ、とても濃い日々を作ってくれます。ここでの経験は、スポーツだけでなく、人生においても大きな力となるはずです。スポーツを愛し、スポーツを軸として自身をもっと高めていって欲しいと思います。

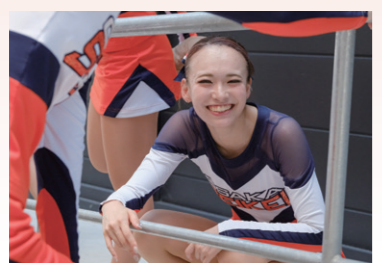




Challenge Myself

—自分の可能性に向かって挑戦—

### 大阪成蹊大学チアダンス部 GRACE



#### 全国大会に向けて日々練習に励んでいます

GRACEの年間最大の目標は、毎年度末に開催される「USA School & College Nationals -全日本チアリーディング&ダンス選手権大会」で良い成績を残すことです。活動の集大成ともなるこの大会で一番楽しんで結果を残し、一番綺麗な景色を見て活動を終えたい、という思いがあり、練習を重ね徐々に調子を上げていきます。

日々の練習は、月曜日だけがオフで週6日第一体育館もしくは第三体育館で続いています。昨年度まで週5日の練習でしたが、本年度より練習日を増やしました。練習内容は学生と監督・コーチで話し合い、一緒に決めていきます。

昨年度末の「USA School & College Nationals 2026 -全日本チアリーディング&ダンス選手権大会」では、審査員の方々から見て一番印象に残ったチームに与えられる「ベストインプレッション賞」に選ばれました。

#### ダンスの魅力は全員の動きを揃えるところ

チアダンスの一番の魅力は、全員

が同じ髪型、メイク、衣装、持ち物で、同じ踊りをして見せる演技という点です。誰かが欠けたり、演技がまとまらなかったりすると、演技の魅力が伝わらない。そこが、チアダンス競技のいいところだと思います。

GRACEもチーム全体の息を合わせるために、チームメイトのことをより深く知り、演技を踊り込んで仕上げる合宿を昨年度はびわこ成蹊スポーツ大学で実施しました。ぜひ、今年も合宿をしたいと思っています。

#### GRACEが大切にしていること

大学のクラブは、上下関係が厳しいイメージがあるかもしれませんが、GRACEはある程度の上下関係を保ちながら、下級生の意見も大切に活動しています。

チアダンスは、チームの信頼関係がなければよい結果につながりません。陰で意見を言うだけではお互いの信頼関係がなくなり、チームに亀裂が生じます。そのため、意見は必ずみんなのいるところで出すことを心掛けています。ときには「部活の存在自体がなくなるのでは？」と感じるくらいに意見がぶつかり、ぐちゃぐちゃになることがあります。でも、そういう時にこそしっかり

ミーティングをして、みんなが自分の意見をちゃんとと言えることがGRACEのいいところです。

また、古風なのですが、大会前にはカツ丼を食べに行き、神社にも参拝して必勝祈願を行います。

#### チームの目標は文武両道で演技は楽しむこと

国内で、きちんと成績をおさめられるチームに成長すること、そして強化クラブとして学園の顔になることができるように、文武両道を目標にしています。目標達成のためには、チームメイトがお互いのことをより深く知っていくことが大切だと思います。

また、結果ばかりに執着し、結果しか見えなくなるとはチアダンスの良さが出せなくなるので、まずは演技をしっかりと楽しむことを、どの大会でもベースにして踊りたいと考えています。



#### お話を伺った3名



徳田 仁愛さん  
教育学部  
中等教育専攻  
保健体育教育  
コース4年生



青木 杏さん  
経営学部  
経営学科  
食ビジネス  
コース3年生  
(2026年度  
キャプテン)



堀 萌衣那さん  
経営学部  
スポーツ  
マネジメント学科  
4年生

## 2026年3月卒業生の就職状況 高水準の就職率を維持

新卒就職市場は、引き続き学生優位の「売り手市場」が続いています。本学園の各大学においても、大阪成蹊大学99.7%、大阪成蹊短期大学100%と極めて高い就職率を記録。びわこ成蹊スポーツ大学においては、8年連続で就職率100%を達成しました。

現在の求人倍率は約1.7倍と高水準にある一方で、採用活動の「早期化・多様化」が加速しています。インターンシップを通じた早期選考が一般的になり、低学年次からの準備が進路選択を左右する時代となりました。こうした環境下、学園の3大学では単なる「就職」をゴールとせず、学生一人ひとりが自律的に「納得度の高いキャリア」を描けるよう支援しています。

具体的には、低学年次からのキャリア教育を基盤に、個別面談、ES(エントリーシート)添削、模擬面接、学内企業説明会など多角的なプログラムを展開。特に個別支援を徹底することで、学生の志向や適性に合致した進路決定を追求しています。

納得のいく進路選択のためには、正課授業のみならず、アルバイトや課外活動、ボランティアといった多様な経験が選択肢を広げます。そして、それらの経験を振り返り、自身の強みや価値観を「言語化」することが、就職活動における大きな力となります。

学年を問わず、「多様な経験」「自己分析」「早期行動」の3点を意識した学生生活を送りましょう。

### 主な就職先

#### 大阪成蹊大学

- アシックスジャパン
- 伊藤ハム米久ホールディングス
- ダイワボウ情報システム
- JR西日本旅客鉄道
- ANA関西空港
- ザ・リッツカールトン大阪
- 三井不動産ホテルマネジメント
- 博報堂プロダクツ
- ユー・エス・ジェイ
- アーバンリサーチ
- 宝塚舞台
- 大阪市・豊中市・伊丹市・他、幼稚園教員・保育士
- 大阪府・兵庫県・他、小学校教員
- 大阪府・京都府・他、中学校教員
- 大阪府・京都府・他、警察官・消防員

#### びわこ成蹊スポーツ大学

- 関電工
- 山形銀行
- フジパングループ本社
- アルペン
- コナミスポーツ
- KUROBEアクアフェアリーズ(SVリーグ)
- 島根県庁
- 京都市消防局
- 京都市・神戸市中学校教員
- 警視庁警察官

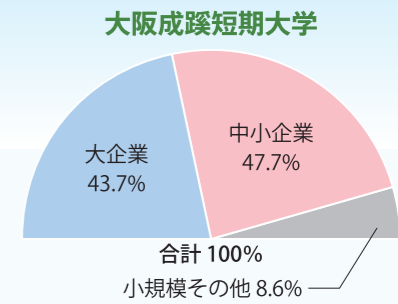
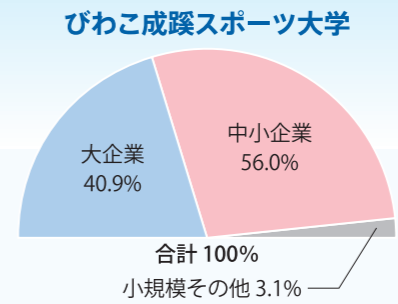
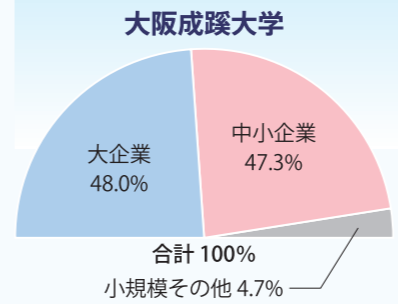
#### 大阪成蹊短期大学

- 富士フードサービス
- 日清医療
- メフォス
- キルフェボン
- ウェスティン都ホテル京都
- オンワード樫山
- パル
- ABC-MART
- スギ薬局
- JFE商事



### 企業規模別就職先

各大学とも40%を超える卒業生が、大企業(資本金3億円以上または従業員300人以上)に就職しています。

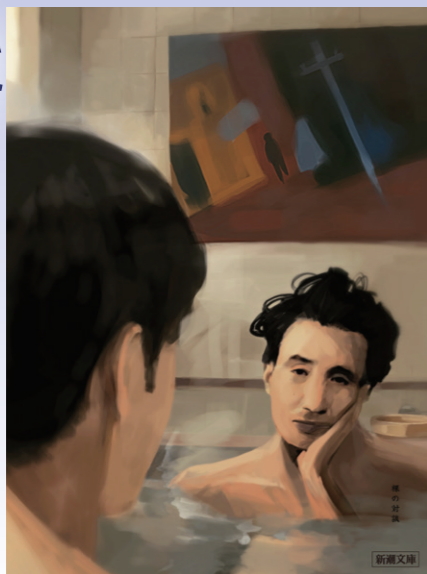


(2026年3月卒業生実績)

\*企業規模は、中小企業基本法等の定義に準じています。  
\*記事は、5月1日時点の情報に基づきます。

大阪成蹊大学 芸術学部4年生2名が  
「第93回毎日広告デザイン賞」を受賞しました!!

大阪成蹊大学 芸術学部 造形芸術学科 グラフィックデザインコースの4年生2名が、「第93回毎日広告デザイン賞」において、プロ・アマ問わず総応募点数917点の中から、小坂 桜華さんが「一般公募・広告主課題の部 優秀賞」、森澤 玲奈さんが「一般公募・広告主課題の部 学生賞」を受賞しました。本作品は、本学の姜 尚均教授の指導のもと、学生が3年次に制作したものです。

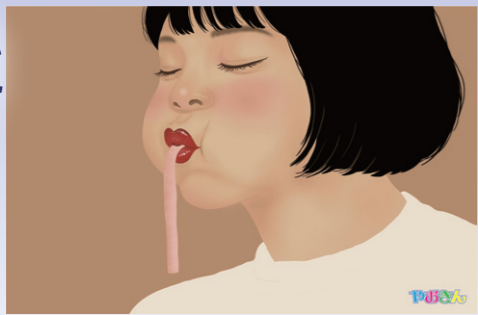


**作品名** 裸の対談  
**受賞者** 小坂 桜華(芸術学部 造形芸術学科 グラフィックデザインコース)  
**課題** 新潮社「新潮文庫」 15段カラー  
**作品解説**

「新しい読書体験」という言葉から、読書とは「書き手が自分の中から生み出した言葉で語りかけ、読み手が自身の思想と重ねて向き合う対談である」と考え、「裸の付き合いをする銭湯のようだ」という着想に至っています。そして、著者の象徴として「太宰治と同じ湯船に浸かっているビジュアル」を描き、時代感のトナリや細部の描写にリアリティを追求することで、見る方が、実際の読書体験と同じように作品の世界へ没頭できることをめざしています。

**受賞者コメント**

この度は、歴史ある毎日広告デザイン賞にて素晴らしい賞を頂戴し、誠に光栄に思います。このような賞をいただき、ご指導いただいた先生方、そして制作を支えてくれた友人や家族に心より感謝申し上げます。今回の受賞を大きな励みに、今後もさらに精進してまいりたいと思います。



**作品名** サワーペーパーを食べる子  
**受賞者** 森澤 玲奈(芸術学部 造形芸術学科 グラフィックデザインコース)  
**課題** やおきん「サワーペーパーキャンディ」 30段カラー  
**作品解説**

本作品は、駄菓子のサワーペーパーを食べる少女をモチーフに、子どもらしい無邪気な瞬間を切り取っています。手がベタベタになるのを嫌がって、大人のように綺麗に食べる工夫をしないそのまま口で食べてしまう、「不器用だけど素直な子どもの姿」を描いており、「食べたい」という気持ちのままに行動する自然体な姿が伝わってきます。垂れ下がるペーパーの形や、頬のふくらみ、味わうことに集中して閉じられた目など、その瞬間への没入感のこだわり、さらに整っていない食べ方や、少しだらしない仕草にも、子どもならではの純粋さや可愛らしさがよく表現されています。

**受賞者コメント**

まさか自分の作品が選ばれるとは思っておらず、大変嬉しく思っています。日常の中にある何気ない瞬間や、子どもらしい無邪気さを表現した作品なので、それが評価していただけたことをとても光栄に感じています。この受賞を励みに、これからも自分らしい表現を続けていきたいと思っています。

「毎日広告デザイン賞」について

「毎日広告デザイン賞」は、1931年(昭和6年)に創設された、日本で最も歴史ある広告賞の一つです。本賞は、実際に掲載された新聞広告を対象とする「広告主参加作品の部」と、若手クリエイターや学生が自由な発想で挑戦する「一般公募・広告主課題の部」の2部門で構成されています。なかでも「一般公募・広告主課題の部」は、次世代の才能を発掘する広告デザイン界の登竜門として高く評価されており、毎年、全国からプロ・アマを問わず多数の意欲的な作品が寄せられる、国内屈指の難関コンペティションです。

主催：毎日新聞社、後援：経済産業省



左：森澤 玲奈さん 右：小坂 桜華さん

大阪成蹊女子高等学校

「若年者向けストーリーカー被害防止啓発ポスター」  
最優秀賞を受賞しました!

大阪府警「若年者向けストーリーカー被害防止啓発ポスター」の募集で西海 玲さん・美術科3年生(受賞時)が最優秀賞を受賞し、2月に大阪府警本部より感謝状が贈呈されました。

**作品解説**

SNSで一方向的に繰り返し連絡を受けている状況を感じさせる構図となっていて、スマートフォンを見る女子生徒からは不安感や困惑している様子など緊迫した雰囲気が伝わってくる作品となっています。



令和8年度全国高等学校総合体育大会  
近畿総体2026 プログラム表紙最優秀賞に決定しました!

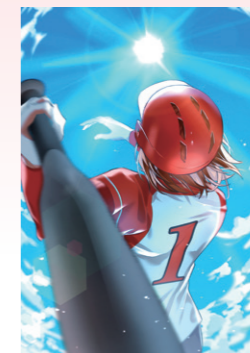
令和8年全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の近畿総体2026で使用される競技別プログラムの表紙デザインで、佐藤 文音さん・美術科3年生(受賞時)と西海 玲さん・美術科3年生(受賞時)が最優秀賞に選ばれました。



**作品解説**

試合の節目が変わる劇的な一場面のようにあり、試合会場の歓声が聞こえてくるような熱気や躍動感を作品から感じることができます。

佐藤 文音  
バスケットボール競技プログラム表紙



**作品解説**

フルスイング後のボールをたらえた瞬間、白球が太陽に吸い込まれるような構図から、ソフトボール競技の躍動感や明るい未来、希望などのイメージが感じとれます。

西海 玲  
ソフトボール競技プログラム表紙

「年中 春の親子遠足」

一大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園だより

4月22日千里中央公園に遠足に行ってきました。お母さんだけでなくお父さんの姿もちらほら。春の遠足は、新年度が始まってクラス替えがあったので、同じクラスの保護者や子どもたち同士が仲良くなるという目的で、親子で遠足を行っています。阪急バス千里中央案内所横で集合し、クラスごとに集まって、公園をめざしました。公園に到着してすぐに、クラスごとに記念撮影をしました。お家の人と一緒に、みんなうれしそう!「りんごぐみ だいすき〜」や「に〜」と言って、笑顔でパチリ。

「ナンバー1体操」をして、「なべなべそこぬけ」で身体を動かしました。「なべなべそこぬけ」は、はじめは、親子で2人、次は4人、最後は8人で、手をつないで、腕をねじって、身体をひっくり返してみんな同じ方向に向くのがとても難しかったですが、成功したときには、歓声があがっていました。

身体を動かしたあとは、自己紹介の時間。恥ずかしかったようですが、自分で名前を言えました。

待ちに待った「お弁当タイム」。さわやかなお天気の中で、食べるお弁当はサイコーにおいしかったです。

食後は、楽しみにしていた「ローラー滑り台」楽しくて、何回もすべる子がたくさん。「おしりがかゆい〜」なんていう感想も(笑)。アスレチックも楽しんでいました。タンポポの綿毛を見つけて、ふ〜っと飛ばしているようすもとてもかわいかったです。

思い思いに、存分に身体を動かして遊ぶことを楽しんでいました。仲良くなれたかな?

こみち幼稚園 園長 水上 明美

オープンキャンパスと学園祭が合体した  
★ 超お祭りイベント ★

# SEIKEI EXPO

2026

6.21 SUN./8.2 SUN./12.20 SUN.

友達と、家族と、同級生と…  
みんなと一緒に!

たくさんのご来場  
お待ちしております!

子どもから大人までどなたでも入場無料!

4月26日開催のオープンキャンパス「SEIKEI EXPO」  
来場者5,000名を超える!

爽やかな晴天のもと、近隣の中高生をはじめ、未来のキャンパスライフを体感しに訪れた多くのファミリー層にご来場いただき、大きな賑わいを見せました。同日開催となった「ホームcomingデー」では、多くの卒業生がキャンパスに帰還。世代を超えた交流の輪が広がり、学園の歴史と絆を改めて確かめ合う貴重な機会となりました。

## 大阪成蹊学園

### ファミリー入試制度のご案内

ご家族(受験者から三親等以内)のいずれかが、大阪成蹊学園の設置校(大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学・大阪成蹊女子高等学校)の卒業生または在学学生である方が対象になります。ファミリー入試合格者全員に対し、学費減免制度の特典があります。

\*2027年度入試詳細に関しては、「学生募集要項2027」をご確認ください。お問い合わせは右記まで。

お問い合わせ先

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 入試広報部  
Tel:06-6829-2554 (平日9:00-17:00)  
びわこ成蹊スポーツ大学 入試広報部  
Tel:077-596-8425 (平日9:00-17:00)



学校法人 大阪成蹊学園

大阪成蹊大学 びわこ成蹊スポーツ大学  
大阪成蹊短期大学 大阪成蹊女子高等学校  
大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

学園広報誌

WAVE

WAVEは学園に集う教職員・学生・生徒の皆様へ、各校の教育実践やキャンパスの動向をお届けします。校種を越えた情報共有を通じて学園の理念を分かち合い、相互理解と一体感を育みます。

●本誌に掲載の情報(個人の学年、所属、肩書き等を含む)は全て取材時のもので、発行時とは異なる場合があります。

2026年6月10日発行 【発行】大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 入試広報部

〒533-0007 大阪市東淀川区相川3丁目10番62号 TEL:06-6829-2606 <https://osaka-seikei.jp>